

第19回出水市女性ソフトバレーボール大会実施要項

1 趣 旨

ソフトバレーボールを通して体力の向上とチーム及び個人相互の親睦を深める。

2 主 催

出水市、出水市スポーツ協会

3 主 管

出水市ママさんバレーボール連盟

4 場 所

マルマエスポーツセンター出水（出水市総合体育館）

5 日 時

令和6年6月16日（日） 午前8時30分 開会式
午前9時00分 試合開始

6 チーム構成

- (1) 選手は、出水市在住の18歳以上の女性とする。
(高校・専門学校・大学等に在学中の学生は参加できない)
- (2) チーム監督1名、選手4名、補欠5名の合計10名以内とする。なお、監督は選手を兼ねることができる。

7 競技方法

- (1) 15点3セットマッチのラリーポイント制とする。
- (2) コートは13.40m×6.10m（バドミントンコート）とし、ネットの高さは2.00mとする。
- (3) 平成17年度「出水市家庭婦人ソフトバレーボール大会」での申し合わせ事項を引継ぐものとする。
- (4) 参加申込みチームが60チーム以下の場合は、予選をリンク戦で行い、原則として各リンク上位2チームによる決勝トーナメントを行う。61チーム以上の場合はトーナメント方式のみで開催する。

8 審判員

- (1) 試合の審判は参加チーム相互で行う。
- (2) 審判員の割り当ては代表者会で行う。

9 申込方法及び申込期限

申込方法：参加申込書を文化スポーツ課に提出する。

※ 参加申込み先及び問合せ先

文化スポーツ課（出水市役所2階） 63-4140

申込期限：令和6年5月29日（水）午後5時まで

10 その他

- (1) 申込み後のメンバー変更は、代表者会終了時までに行うこと。
- (2) 準備運動を十分に行い試合に臨むこと。
- (3) 弁当等の後片付けは完全に行い、ゴミは必ず持ち帰ること。
- (4) 大会の規定に違反したチームは、オープン参加とする。
- (5) 大会当日の競技中の傷病等については、大会本部では応急処置程度となる。
病院受診するほどのけががあった場合、その費用は出水市が加入している保険で賄うことができるので、その際は文化スポーツ課へ連絡すること。ただし、練習期間のけがは上述の保険で賄われないため、各チームでスポーツ安全保険等に必ず加入すること。
- (6) 代表者会及び抽選会を開催するので、代表者は、必ず出席すること。
代表者会及び抽選会に代表者の出席がない場合は棄権したものとみなすので、注意すること。
- (7) 開会式は全チーム出席すること。
- (8) 大会の試合球については、MIKASA のソフトバレーボール公認球を使用する。
- (9) 大会の出場チーム数が3チーム未満の場合は、大会を延期又は中止とする。

代表者会及び抽選会

日 時 : 令和6年6月7日(金) 午後7時00分から

場 所 : 出水市役所1階 多目的ホール

開・閉会式次第

◎開会式

- 1 開式通告
- 2 優勝カップ返還
- 3 開会のあいさつ
- 4 競技上の注意
- 5 選手宣誓（1番くじチーム）
- 6 閉式通告

※開会式終了後に、準備体操及び審判講習会を行います。

◎閉会式

- 1 開式通告
- 2 成績発表
- 3 表彰
- 4 講評
- 5 閉式通告

大会役員

大会会長 出水市長 椎木伸一

大会副会長 出水市スポーツ協会会長 税所司

競技役員

競技委員長 出水市ママさんバレーボール連盟 内田貴美子

審判長 出水市ママさんバレーボール連盟 窪下ちさ子

審判員 出水市ママさんバレーボール連盟会員・参加各チーム選手

進行・記録 出水市ママさんバレーボール連盟会員・参加各チーム選手

○ ソフトバレーの主なルール

- ・ サービスは、1回とする。
- ・ タイムアウトは、1セットにつき最大2回認められる。
- ・ プレーヤーの交代は、1セットにつき1度だけであるが、1～4人まで（全員）同時に交代できる。
- ・ サービス権を得たときは、時計回りにローテーションを行い、位置を移動する。
- ・ 相手方のサービスしたボールをアタックヒット（アタック）することはできない。ブロックすることもできない。
- ・ 第2セット以降のスターティングポジションは、基本的には第1セットと同じスターティングポジションとなる。変更する場合は審判に申し出る。

家庭婦人ソフトバレーボール大会からの申し合わせ（引継ぎ）事項

- ・ 予選リーグの審判員については、同パートで試合の無いチームが、協力して全ての係を行う。（線審は4名）
- ・ オーダー表は、パートごとに提出箱を用意するので、前の試合の1セットが終了するまでに本部に提出する。
- ・ 当日の開会式終了後、各チームにオーダー表を渡す。
- ・ サーブ時におけるネットインプレーは失敗であり、相手チームの得点となる。
- ・ ナンバーカード（番号）は、背中と胸につけることを原則とするが、どちらか一方しか準備できないときは、胸につけるものとする。
- ・ チームキャプテンは、キャプテンマークを必ずつける。番号の下にビニールテープのよなものをつけるのもよい。
- ・ ブロックはカウントしない。
- ・ サーブは、5秒以内にボールを打つこととする。
- ・ サーブを打つ時は、必ずコート内の各自の位置にいること。（コート外に出ないこと。）
- ・ サイドラインの線審は、アンテナも見ること。（アンテナにボールが接触する反則も見ること。）反則があった場合は、反則があった場所を指差し、フラッグを振って主審に知らせること。
- ・ チームで3回目に触れたボールが、ネットに接触し、戻って来た場合、チーム内のどのプレーヤーが戻ってきたボールに触れてもオーバータイムスとなる。1回目、2回目にネットに触れたボールは3回以内に相手コートに返すことができれば、有効となる。
- ・ ボールは、一部でもラインに触れていれば、有効とする。
- ・ 野球チームのユニフォームでもナンバーカードがはっきりわかれば認める。
- ・ サーブは、各セット最初のサーブを除き、すべてローテーション後にバックライトのポジションに入るプレーヤーが打つこと。
- ・ 勝敗が同じチームの決勝トーナメントへの進出方法
 - ① 得失セット数 → ② 総得失点 → ③じゃんけん（各チーム代表選手3人）